

萌芽研究課題事後評価結果

平成15年度終了の萌芽研究の課題名及び評価結果は、以下の通りです。

No.	平成15年度終了課題名	評価結果 (S,A,B,F)
1	ナノパターン強誘電体の分極制限と新規物性	A
2	低圧誘導結合VHFプラズマCVDによるナノクリスタルエンジニアリングの確立	A
3	電界効果型デバイスにおける電子相関に関する研究	S
4	局所状態密度高精度可視化による極微量量子効果発現機構の探求	S
5	単一量子分光装置の試作研究	S
6	単一ナノドットの量子状態制御	S
7	有機超薄膜解析	A
8	新ナノ構造の創製	A
9	イオン伝導体および強誘電体ナノ無機材料に関する基盤研究	S
10	スーパーファインティップの開発とその多探針走査プローブ顕微鏡への応用	A
11	CVD形成したナノマテリアル材料の電子・光物性の研究	S
12	非熱平衡反応を利用したナノ新物質相の創製	A
13	有機ナノ立体配置のための”官能基-官能基反応”の探索	A
14	凝縮系における反応及び励起のダイナミクス	S
15	マイクロ・ナノ構造制御と機能特性に関する研究	S
16	ナノ熱物性測定素子開発に関する研究	A
17	大気腐食の寿命予測に関する研究	A
18	未知の磁気ネットワークを持つ量子スピン系の磁性の研究	A
19	燃焼合成プロセスで製造した金属間化合物の諸特性に関する研究	A
20	微小コンポーネントの特性評価に関する研究	A
21	固体の混合伝導挙動に関する研究	A
22	同位体シリコン化合物に関する研究	A
23	準結晶の構造と物性に関する研究	S
24	生分解性高分子の微細加工技術の開発と細胞センサチップへの応用	A
25	人工角膜に関する研究	A
26	有機酸から構成される低侵襲性高分子材料の合成と機能評価	S
27	非銅系酸化物超伝導体の評価と新物質の探索	A
28	Bi-2212丸線材のJc(臨界電流特性)向上の研究	A
29	急冷変態法を適用したV3Ga線材の研究	A
30	人為的磁束線ピン止め中心導入による磁束線ピンニング機構の解明	A
31	高温超伝導SQUIDによる非破壊検査の検討	A
32	変形組織構造解析	A
33	新規可視光応答型光触媒の研究開発	S
34	強磁場化学	A
35	強磁場中相変態を利用した組織・機能制御	S
36	磁気冷凍	S
37	軽量高比構造用複合材料の開発のための基礎的研究	A
38	液体水素用構造物に用いられる構造材料の組織制御と破壊機構の解明	S
39	藤塚基盤整備資金	A
40	マルチスケール統合解析による損傷評価の調査研究	A